

令和4年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|
| 学校番号 | 36 | 学校名 | 静岡県立静岡東高等学校 | 校長名 | 鈴木 伸彦 |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「学業と人間形成の両面において、生徒一人ひとりを大切に育てる」という教育方針のもと、「人生を主体的に切り拓き、高い志を持って社会に貢献する人材」を育成する。

- ① 生徒・保護者・地域から「生徒を伸ばす進学校」として常に信頼される学校
- ② グローバルな視野を持って地域社会や国際社会の発展に貢献できる人材の育成
- ③ 健全な心身と豊かな人間性の育成

(2) 目標具現化の柱

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために組織的な授業改善に取り組み、確かな学力を育成する。
- イ 外部人材の活用や高大連携をとおしてキャリアプランニング能力を育成し、高い志を持ち、進路目標に挑戦しようとする態度を育てる。
- ウ 授業・部活動・学校行事の両立を通して、目標に向けて自己をコントロールする力や、多様な人々と協働しながら課題解決する力を育成する。
- エ 心身の健康をはかり、災害・事故・病気等から命を守り、自他を尊重する精神を育成する。
- オ 充実した広報活動を進めることで、中学生やその保護者、地域住民や市民に、生徒の活躍や教育の取組が理解される学校になる。
- カ 業務改善を進め、職員相互の意思疎通と連携を通じて、働きやすい職場環境を目指す。
- キ 県教育委員会と連携し、新校舎建築に係る業務を円滑に進める。
- ク スクール・ポリシーを策定し、本校が目指す理想や将来像を描くとともに、職員・生徒への周知を図る。

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記入)

| 取組目標 | 達成方法 (取組手段) | 成果目標 | 担当 |
|----------------------------|--|---|------------------------------|
| ア 授業改善と 確かな学力 の向上 | 主体的・対話的で深い学び、観点別評価、ICT活用の校内研修会と教員の相互授業参観の実施、生徒による授業評価の分析等により授業改善を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業参観 年3回以上 100% ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数 5人以上 ・課題解決のための先進校訪問 2人以上 | 研修課 情報管理課 |
| | 高校生のための学びの基礎診断・各種模試等の結果分析、学習時間調査等をふまえた組織的で計画的な学習指導と、個に応じた学習指導により学力向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年家庭学習時間平日1日平均最低90分、目標3時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・大学入学共通テスト平均点 全国平均+5%以上 ・学習支援プラットフォーム (Classi) の学習指導への活用 | 進路指導課 学年 |
| | 大学入学共通テストに対応できる学力を育むとともに、新学習指導要領に則した学習指導体制を確立する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程・共通テストに対応する体制の確立 ・3年間を見通した進路指導計画の検証と改善 ・Classiによる活動履歴蓄積の推進 | 教務課 進路指導課 学年 |
| | 「東陵セミナー」及び各教科の探究活動を通して生徒の知的好奇心を高め、社会問題解決に関わろうとする意識を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けることができた」生徒 80%以上 ・「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」 80%以上 | 探究推進課 学年 各教科 |
| | 50分授業の定着と朝テストの確実な授業内での実施をはかる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況・姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」 70%以上 | 教務課 学年 |
| | ICT環境を整備し、情報機器やクラウドサービス等を積極的に活用し、持続的な学びを実現する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台PCの導入と活用方法の検討と決定 ・情報機器を活用した学習機会の拡大 ・授業や探究学習でオンライン学習や交流活動を進める。 | 教務課 情報管理課 探究推進課 各教科 |

| | | | | |
|---|---|--|--|---------------------|
| イ | 志の育成と進路目標への挑戦 | 各種進路行事や高大連携による各種講座等により高い志を育成し、組織的できめ細かな進路指導により、主体的な進路選択ができる能力を育み、進路目標を実現する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業 生徒満足度 各90%以上 ・大学訪問 生徒各自の目標達成率 100% (オンライン説明会参加も含む) ・大学入学共通テスト5教科型受験率 80%以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上 ・県内国公立大学合格者数 60人以上 ・国公立大学現役合格者数 卒業生の50%以上 ・難関国公立大学(※1)合格者数 10人以上 ・難関私立大学(※2)合格者数 90人以上 | 進路指導課 学年 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・「専門教養講座(後期)」の単位取得者 5人以上 ・生徒個人面談回数 年間5回以上 | 教務課 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学実験講座 参加者数20人以上 満足度90%以上 | ※3 |
| | | 東陵セミナーの充実を図るとともに、授業・学校行事・部活動についてカリキュラム・マネジメントの観点で指導することにより、育てたい資質能力(課題設定解決能力等)を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行生徒満足度 90%以上 ・SDGs等に関する各種外部コンテスト・プレゼン大会に参加する生徒 30人以上 | 2学年 探究推進課 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs terakoya 参加者の満足度90%以上 ・英語外部検定(GTEC等「学びの基礎診断」) C E F R B1 レベル 60人以上 A2 レベル 500人以上 | 進路指導課 探究推進課 英語科 | | |
| ウ | 自主自律の精神と豊かな人間性の育成 | 部活動や学校行事を通してメリハリのある生活習慣と目標に向けて主体的に取り組む態度、他と協働する力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数 1日平均全校で5人以下 | 教務課 学年 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・東陵祭生徒満足度 80%以上 ・「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90%以上 ・各部活動の目標達成率 80%以上 ・最終下校時間19:30の遵守 | 生徒指導課 |
| | | 初期指導の在り方を検討し、ネット社会を鑑み、モラルと品位のある生活態度と人権意識を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・初期指導を効果的に実施する中で、「高校生活指導プログラム」の見直しを図る。 ・情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0件 | 学年 生徒指導課 ※4 |
| | | 文化教室・読書指導等を通して豊かな感性を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化教室 生徒満足度 80%以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数 5,000冊以上 | 図書課 |
| エ | 心身の健康と命を守る教育の推進 | 交通安全指導の充実により交通ルールとマナー遵守の態度を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重大な生徒交通事故件数 0件 | 生徒指導課 |
| | | 保健教育と教育相談機能を充実させ、健康で心身の調和が取れ、レジリエンスが高い生徒を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健便りの発行回数10回以上と発行方法の工夫 ・養護教諭による集団を対象とした保健教育の実施 ・グループエンカウンター(1年生)の実施 ・セラ・プラスの実施と活用 全学年 ・1分間カウンセリング(1年生)の見直しと代替措置の検討 ・丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員やSCとの情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施 | 保健課 教育相談課 各学年 |
| | | 災害時の備えを充実させ、防災・減災意識を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施 | 総務課 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業の参加者数 計1,600人以上 ・土曜公開授業外部評価 満足度 90%以上 | 管理職 |
| オ | 積極的な広報活動 | | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業での校内美化点検の実施 | 保健課 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・HPのタイムリーな情報発信と週2回以上の更新 ・HPにおける各部活動の活動報告 学期1回以上 | 情報管理課 |
| | | 記者提供を頻繁に実施し、本校の情報を積極的に外部に発信する・ | <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある行事や生徒の取組を記者提供し、前年度を上回るメディアへの登場回数を達成する | 管理職 |
| | | 60周年記念事業と新制服の導入を成功させ、学校の活力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・60周年記念事業への参加者の満足度90%以上 | 60周年実行委員会 |

| | | | | |
|---|------------------------|--|--|--------------|
| カ | 業務改善と働きやすい職場づくり | 明るく親切的な窓口対応(事務室)を心掛け、定期的な安全点検の実施により教育環境を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口へのクレーム件数 0件 ・月1回の安全点検の実施 ・ごみ処理費前年比減 | 事務室 (保健課) |
| | | 不祥事根絶研修によりコンプライアンス意識を向上させるとともに、教職員の協働・連携体制を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・配布されたGoogleアカウント内のチャット機能により、勤務時間外も含めた非常時に、管理職、運営委員が迅速な情報共有と意見交換を行えるようにする。 | 管理職 運営委員 |
| | | ICTやクラウドサービスを活用して、新たな学びを実現するとともに、業務改善に取り組み、教職員の多忙化解消を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌や部活動の整理、統廃合による校務整理 ・各種調査、教材研究等積極的にICT機器を活用し、校務の効率化を図る。 | 管理職 情報管理課 |
| キ | 新校舎建築に関わる業務の遂行 | 今後80年程度使用する新校舎の根幹となるための基本設計を検討し、円滑に実施設計につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・提示された基本設計(校舎配置、諸室配置、仮設校舎、バックヤードの設定等を含む)について、職員に丁寧に説明し、それに対する意見や要望を集約する。 ・設計に関する学校の意見を教育施設課や営繕工事課等県担当課に的確に伝え、適切に意見交換や情報交換に努める。 | 管理職 事務室 |
| ク | スクール・ポリシーの策定と周知 | スクール・ポリシーを策定し、本校の将来像や教育目標を明確化し、職員生徒及び外部に周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ポリシー策定委員会(仮称)を設置し、現行グランドデザインと突合しながら、学校の在り方や将来像について定期的な協議を行い、スクール・ポリシーを策定する。 ・職員に上記の検討経過や内容を提示し、幅広く意見を聴取する。 ・生徒、保護者、中学校、地域等に、策定したスクール・ポリシーや本校の目指す将来像を周知し、学校の教育活動の浸透を図る。 | 管理職 ※5 |

※1 北海道、東北、東京、名古屋、京都、大阪、九州、東京工業、一橋、神戸、医学部医学科

※2 早稲田、慶応、上智、ICU、東京理科、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政、関西、関西学院、同志社、立命館

※3 理系高大連携推進委員会

※4 いじめ防止対策委員会

※5 スクール・ポリシー策定委員会(仮称)